

「水道事業の経営戦略の策定に係るパブリックコメント」に寄せられた意見に対する市の考え方（No.1～30）

No.	ご意見（原文のまま記載しています。）	市の考え方
1	<p>効率的な水道事業の経営の面で、大阪広域水道企業団との統合については賛成です。</p> <p>しかし、2027年度以降、企業債残高の額が年々増加していることが非常に気になります。</p> <p>将来世代に借金を残すことになり、支払利息も億単位の額になりますので、現段階から早期の水道料金の値上げを検討してください。</p> <p>（10年ごとではなく、もっとこまめに水道料金の増減をしてもいいと思います）</p> <p>配水池ごとに基本料金を設定することも検討ください。</p>	<p>①本計画の期間中に更新基準年度を迎える設備や、災害に強いまちづくりのために老朽化の進んだ管路の集中的な更新を行う必要があることから、企業債を発行（借り入れによる資金調達）し、その財源に充てることは、世代間の負担を公平化するために合理的な仕組みです。ただし、企業債の借り入れが多くなりすぎると、ご意見いただいているとおり、将来世代への過剰な負担となるため、市の一般会計での類似指標である「将来負担比率」や他市の水道事業の経営戦略を参考に「企業債残高対給水収益比率」を設定しました。</p> <p>②水道料金の値上げについては、外部有識者・市民等で構成される第三者的な機関での審議や市民への丁寧な説明を行いながら進める必要があると考えており、早期に検討に着手したいと考えています。</p> <p>③配水池ごとの基本料金については、市内全域の浄水・配水施設や管路を配水池（配水区）ごとに原価計算することが極めて困難であり、検討する考えはありません。水道料金の改定にあたっては、公益社団法人 日本水道協会の水道料金算定要領に基づき検討を行う方針です。</p>
2	<p>日本各地で水道管のトラブルなどをニュースで目にします。箕面市でも計画的な管理をお願いしたいと思います。</p>	<p>箕面市では、今回の経営戦略（実施計画）に基づき、重要給水施設への供給ルートを優先して管路の更新や耐震化をすすめるなど、安心・安全な水道水を安定して届けるために計画的に取り組んでいきます。</p>
3	<p>箕面市の水道料金は他市に比べると高いと聞いた事があります。今、全国で水道管の老朽化が叫ばれています。本市も避けて通れない課題だと思います。今後どのように取り組んでいくのか知りたいです。</p>	<p>箕面市の水道料金の水準は大阪府内では概ね中位に位置しています。また、今後の取り組みについてはNo.2に記載のとおりです。</p> <p>なお、安心・安全な水道水を安定して届けるために、必要に応じて料金改定を実施し、必要な財源を確保します。</p>
4	<p>10年前とは違い、人口増加で箕面の税収は潤うのだから、きちんと水道料金を提案すべき。</p>	<p>水道事業は独立採算制で、必要な費用は水道料金で賄うことが原則です。箕面市では、水道事業に対する一般会計からの繰出金の対象としているのは総務省から通知される基準（地方公営企業繰出金基準）に該当するものに限ってお</p>

	<p>豊中や池田に遅れをとっているイメージしかなく、非常時に箕面市民が箕面の水で守れないのはおかしい話。</p> <p>箕面独自できちんと水を賄える体制を整えないと、新たに箕面に来てくれた若者には将来がない。</p>	<p>り、税込で補う（＝基準外の繰出を行う）という考えはありません。</p> <p>国交付金等を最大限活用したうえで、必要となる料金収入を算出し、料金改定の検討を行います。</p> <p>豊中市、池田市の自己水比率はそれぞれ約15%、約96%（「令和5年度大阪府水道の現況」水源の内訳より算出）となっており、自己水の割合は、水源の場所や水利権の有無によって異なりますが、自己水を活用するための浄水施設にも莫大な費用が必要となることから、各市の特性に応じて、安心・安全な水道水を安定して供給できるかどうかを最重要と考えています。</p> <p>なお、この計画において、箕面独自の水源として箕面浄水場は維持し続ける考えを示しています。</p>
5	<p>料金がかかるのは仕方ない事です。</p> <p>日本経済がガタついているので。ただ、箕面市が水道事業を手放すのは大変危険です。</p> <p>何があっても、ライフライン系統は市で管轄しなければいけないと思います。</p> <p>保育園の時でもそうでしたが、いざという時介入できないのが現状です。</p> <p>それを統合するのは本当の将来の見通しが立てれない愚策です。</p>	<p>災害時の対応についてのご意見と受け止めて回答いたします。</p> <p>箕面市災害対策本部の指揮監督は対策本部長である市長が行いますが、水道に特化した対応については、これまでも水道職員が担ってきました。大阪広域水道企業団（以下、「企業団」という。）との統合後は、箕面市の水道事業を所管する部署である（仮称）箕面水道センターが企業団本部のバックアップを受けながら、箕面市災害対策本部と連携して対応にあたることになるため、箕面の単独経営の場合と比べ、水道分野の災害対応はより強化されると考えています。</p>
6	<p>以前、箕面市の議員さんより、大阪府下の水道料金の地域による不公平についてお話を伺い、箕面、能勢の高い水道料金について市内との公平性を目指したいとの事でしたが、今回の内容では益々高い水道料金になるのではと思いますが、如何でしょうか？</p>	<p>浄水処理の方法、水源からの距離、給水区域内の標高差といった地形等の条件が異なることに伴う施設の配置状況、管路の更新工事の必要性等から、各市町ごとに料金水準にも差が生じており、箕面市は大阪府内で概ね中位の水道料金です。</p> <p>企業団と統合した場合でも、大阪市を含めた全ての市が企業団に統合し、料金を統一する「府域一水道」が実現するまでの間は、水道料金の算定は各団体ごとに行うこととされています。そのため、箕面市の水道料金についても、これまでどおり、箕面市の水道事業に必要な費用に基づき、料金改定の検討を行います。よって、企業団との統合には関係しません。</p>

7	<p>箕面市のお水は、きれいで美味しいよ、と表明して、水道水を飲料として日常使いするようにすれば、ペットボトルのゴミも減りエコにもなるかな?と思いました。</p> <p>外国人を相手にする仕事をしていますが、よく「(日本では)水道水を飲んでも大丈夫?」とよく尋ねられます。もちろん、飲めるよ、と案内しています。</p>	<p>水道週間等の機会に「ぐぐーっと飲みたい 大阪の水、箕面の水」というキャッチフレーズを用いた啓発物品を配布など啓発活動を展開しています。今後も引き続き、啓発に努めます。</p>
8	<p>将来を考えた計画の見直しは必要だと思いますが、水道料金の値上げや災害時の対応については市民として不安があります。</p> <p>分かりやすい情報提供と、生活への影響ができるだけ少なくなるような工夫をお願いしたいです。</p>	<p>このたび、「もみじだより」12月号から2月号の3回にかけて特集記事を通じて、箕面市の水道の課題等について集中的にお知らせしました。今後も水道料金の値上げの必要性や災害時の対応について、市民の皆様の安心につながるよう丁寧な情報発信に努めます。</p> <p>なお、企業団との統合後の災害対応については、No.5のとおりです。</p>
9	<p>制度がどうなっても、最後に命を守るのは“地域のつながり”です。</p> <p>水道の話も、防災の話も、顔の見える関係づくりと一緒に考えていきたいと思えます。</p>	<p>箕面市では、大規模災害が起きた後、たとえ行政機能が麻痺していても、地域で地域を守る体制を作るため、小学校区ごとに「地区防災委員会」を設立し、避難所の運営等にあたりますが、広範囲に断水が生じた場合、避難所を拠点として応急給水活動を行います。水道事業の経営主体が企業団となっても、箕面市災害対策本部との連携のもと、地域に根ざした活動を展開します。</p>
10	<p>提案通り料金改定は必須だと思います。</p> <p>公共事業が健全な運営ができることが、市民の安心につながると思います。</p> <p>また技術職の確保も重要だと思いますので、受験料のサポートの拡充も検討の余地ありだと思います。(一定年度の従事を必須とする)</p>	<p>現在、職員の能力向上や専門性の確保を目的として、自主研修助成制度があり、職務に必要な資格取得や専門知識・技能の習得に係る研修について、一定の助成を行っています。今後も、既存制度の活用状況や効果等を踏まえながら、人材育成支援について検討していきます。</p>
11	<p>箕面市水道事業経営戦略の検討にあたり、防災の観点から、以下の点を強く要望します。</p> <p>現在、箕面市は大阪広域水道からの受水に加え、自己水(地下水・河川水)と市独自の浄水場を有している自治体です。このことは、平常時だけでなく、災害時においても大きな強みであり、</p>	<p>①市内全域に安心・安全な水道水を安定して届け、災害に強い施設・管路を整備するためには、自己水だけに着目するのではなく、重要管路や施設の耐震化・更新を進めることが最重要と考え、令和27年の重要管路の耐震適合率目標を85%、配水池の耐震化率を96.3%と定めて管路や施設の更新工事を実施していきます。</p> <p>大地震が起こった直後には、少なくとも3日間は外部支援が届かないことを</p>

簡単に手放すべきものではありません。

災害時における最低限の飲料水供給量は、
1人1日あたり約3リットルが目安とされています。
しかし、桜ヶ丘浄水場の井戸水など自己水源を活用できれば、
1人あたり4.5リットル程度の供給も現実的に可能と考えられます。

これは単なる数値の問題ではなく、
✓給水車に頼り切らない体制
✓初動期の混乱を抑える力
✓高齢者や要配慮者の命を守る余力
につながる、極めて重要な防災インフラです。

経営効率やコストだけを基準に、
自己水や浄水場の価値が過小評価されることがあってはなりません。

また、水道料金についても、
市民の声がしっかりと反映される仕組みを維持・強化することを強く希望
します。

水道は命を支えるインフラであり、
「知らないところで決まる」「後から知らされる」ものではありません。

私たちは、
自己水を守ることは、箕面市の防災力と自治の誇りを守ることだと考えま
す。

どうか、

想定して、市では各家庭に対し、1人1日3リットルの飲料水と生活用水の備
蓄を呼びかけています。災害の規模が大きく、断水が長期間にわたる場合には、
市対策本部と連携し、外部支援も受けながら、市民が最低限生き延びるための
飲料水を確保し、避難所等への拠点給水による応急給水を実施するとともに、
1日も早い復旧に努めます。

桜ヶ丘浄水場は、国から譲渡されて以降、既に70年以上が経過しており施設
の老朽化も進んでいます。また、施設及び管路はいずれも耐震化されていない
ため、災害時に大規模な被災を受けるリスクが高い状況です。また、施設が立
地的にも給水車の頻繁な出入りが困難な住宅地にあることなどから、災害時に
大きな強みとは言えないと考えています。

桜ヶ丘浄水場のみの配水区域は桜ヶ丘、新稲2丁目の一部、新稲5～7丁目、
桜3丁目の一部などの約3,900世帯（市内全世帯数の約6%）ですが、桜ヶ丘
浄水場の施設を仮に耐震化・更新する場合、約35億円の整備費用が必要とな
り、その費用の上昇に要する水道料金は桜ヶ丘浄水場の配水区域以外の方たち
も含め市全体で負担することになります。また、この区域にお住まいの方の中
には「井戸水で美味しい」という声がある一方、「少し癖を感じる」、「乾いた後
に水回りに白い汚れが付着して困っている」といったご意見等も寄せられてお
り、評価が分かれている状況です。

以上を考え合わせると、平成26年度に既に方針化しているとおり桜ヶ丘浄
水場については廃止という選択が妥当と考え、今回の水道事業経営戦略にその
旨記載しています。

なお、自己水の災害時の利用については、桜ヶ丘浄水場を廃止した場合でも
箕面浄水場で自己水が確保できます。箕面浄水場の最大浄水能力は1日約
2,400立方メートルであり、非常時に必要とされる1人1日3リットルに人口
14万人を掛けた約420立方メートルの飲料水を十分に確保できる能力を有し
ています。桜ヶ丘浄水場を廃止しても、災害時の最低限の飲料水の供給につい
ては箕面浄水場で対応可能と考えています。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箕面市の自己水 ○ 桜ヶ丘浄水場をはじめとする市独自の浄水機能 ○ 市民の声が反映される料金決定のあり方 <p>これらを、経営戦略の中で明確に位置づけ、将来世代に引き継ぐインフラとして守り抜いてください。</p> <p>以上、防災の現場に関わる立場からの切実な要望です。</p>	<p>②水道料金への市民の声の反映について、水道事業に関する重要事項について、例えば、企業団との統合後に料金の値上げを行う場合には、企業団において外部有識者や市民等で構成する料金検討部会を立ち上げ、内容については市長及び市議会にも説明し、市民説明会等を実施しながら検討を進めて行くことになります。また、検討結果を料金改定案としてとりまとめた後も、企業団の運営協議会においては、箕面市の水道を所管する担当部長が参加し意見を述べることができます。また、企業団は大阪市を除く42市町村で構成される団体であり、運営協議会での承認を得た重要事項は、42市町村長が構成員となる首長会議に諮られることとなり、箕面市長も構成員として首長会議で意見を述べるすることができます。さらに、首長会議で承認を得た事項が企業団議会に提案されますが、料金改定等の議案が諮られる年度は、当該団体に優先的に議席が配分されることとなっています。</p> <p>以上を勘案すると、企業団と統合したとしても、箕面市に関わる重要事項については地元である箕面市の意見が尊重される仕組みが担保されていると考えています。</p>
12	<p>市内に水源が違う箇所が有る事で何か事故により一つの水源が使い無くなるともう一つの可動している水源で対処できる事が有ると思うので是非残して欲しい。</p>	<p>桜ヶ丘浄水場の存廃や災害時のバックアップについては、No.11の①に記載のとおりです。</p>
13	<p>箕面の自己浄水場を守ってください 広域になってしまうと、余計に箕面市民への水の供給がなくなりそうで不安です。それに淀川から離れてて、意味ないです</p>	<p>自己水である箕面浄水場については、今後も稼働を継続します。 また、淀川からの距離にかかわらず、現在も市内の9割を超える世帯が淀川を水源とする企業団水を使用しています。箕面市が単独経営を続ける場合でも、企業団と統合する場合でも、箕面市民への水の供給が途絶えることはありません。なお、桜ヶ丘浄水場の存廃については、No.11の①に記載のとおりです。</p>
14	<p>インフラとして専用の水源は必要であり、収支が立たないから手放して良いものではないと考えます。収支が立たないからこそ、国や自治体が管理、維持すべきものがインフラです。緊急時にも備えてここは踏ん張っていたきたい</p>	<p>箕面市が単独で経営する場合でも、企業団と統合する場合でも、いずれのケースにおいても、給水収益の減少が予想されるなかで、管路や施設の老朽化対策等は必要な状況であり、収益の悪化に伴う料金改定は避けられない状況です。これら課題を少しでも改善するとともに、災害時にも強い体制を構築するため</p>

		<p>に、水道専門の行政機関である企業団との統合を検討しているものであり、企業団は既に府内 19 市町の水道事業を運営していることから、必ず市が運営すべきものではないと考えます。</p> <p>桜ヶ丘浄水場の存廃や災害時のバックアップについては、No. 11 の①に記載のとおりです。</p>
15	<p>○防災の観点から→桜井浄水場があれば救済できる命が増える。</p> <p>○自分達の水は、市と市民で守るべき</p> <p>○豊中市、池田市はきちんと市と市民で水を守る話し合いと対策を進めていってると市民から聞きます。箕面市も守るべき。</p> <p>先頭走って市民の為の市政をお願いしたい。</p> <p>箕面市は新しく住まわれる方が、箕面に住みたいと引越しされて人口増加しています。</p> <p>新しく入ってくださる方、昔から箕面を愛している市民が、誇れる市の指針と、市民の声を反映し、共に考える市であって欲しいと思います。</p> <p>市の方が大変なのも理解します。がそれも踏まえ水道料金など見直し、自ら守るしであって欲しいと思います。</p>	<p>桜ヶ丘浄水場の存廃や災害時のバックアップについては、No. 11 の①に記載のとおりです。</p> <p>今回の経営戦略の策定及び以前に実施した企業団の統合検討にあたっては、説明会やパブリックコメントを通じて、市民意見をお聞きしながら検討を進めています。</p>
16	<p>自己水と、インフラを守って頂く方向でお願いしたいです。市民の声を取り上げて頂く様希望します。</p>	<p>自己水とインフラについては、No.11 の①に記載のとおりです。</p>
17	<p>箕面市の自己水と浄水場を守ってほしいと思います。</p>	<p>自己水と浄水場については、No.11 の①に記載のとおりです。</p>
18	<p>水は、体を構成する主要なもの。</p> <p>安全な水は、公の事業として、浄水、下水ともに大事な事業です。その重要性を市民に伝えて、市の事業として、維持できるようにして下さい。</p> <p>水道管の老朽化、私は他市で働いていて、サビが入る水道水をみまし</p>	<p>水の安全性についてですが、水道水の水質基準は水道法に基づいて定められており、今後、企業団と統合したとしても、水質基準に適合した水を供給することに変わりなく、水質に関する情報の開示についてもこれまで通りと変わりありません。</p> <p>なお、企業団との統合を機に企業団水が配水されるようになるのではなく、</p>

	た。怖い【絵文字「叫ぶ顔」】	箕面市内の9割を超える世帯には、既に企業団水が配水されており、問題なく利用されています。企業団水は、企業団がオゾン処理や粒状活性炭処理等を行った「高度浄水処理水」であり、水質基準に適合することはもとより、過去に厚生労働省が設立した「おいしい水研究会」が提言したおいしい水の要件を満たしています。また、本市では、計画的に管路の更新を進めることで、サビや濁り水の発生防止に取り組んでおり、企業団に統合しても、計画的に更新するものです。
19	<p>広域化のデメリットをしっかりと議論しきれていない。本当に災害の時に市の水は100%守れるのか??お金を理由にしてるけど、もっと見直せるところはたくさんあると思う。</p> <p>箕面市は素晴らしいところですが、パブリックコメントを大事にしてくださいと思います。</p>	<p>企業団統合により、水道料金改定などの重要事項は42市町村議会から選出された議員で構成される企業団議会で決定されるため、今までのように箕面市議会での議決事項ではなくなることをもって「デメリット」ととらえられる方も見受けられます。</p> <p>ただし、水道事業の重要事項についてはNo.11の②に記載したとおり、企業団と統合したとしても、箕面市の意見が尊重される仕組みとなっており、「デメリット」ではないと考えています。</p>
20	箕面市の水道事業ではどのようなお仕事をしているのか、学校などで子ども向けに話をしたり、プリントを配ったりして欲しい。	市立小学校において新3年生に配布している地域学習副読本「わたしたちのまち箕面」に「くらしをささえる水」という項目があり、上下水道局からデータを提供しており、箕面市の水道水について詳しく掲載されています。また、小学校4年生を対象とする浄水場見学会について、市立小学校等に呼びかけ、希望のあった学校の受け入れを行っています。
21	反対です	何に対して反対なのかを、特定しかねますが、ご意見として承ります。
22	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>水道事業について不勉強であったため、質問や意見がずれてしまっているかも知れませんが…</p> <p>人財確保については今の日本全体的にも人財不足は同様な状況下で手を取り合える仕組み作りを構築していくことは、確かに大切だとは思いますが。</p> <p>ただ、箕面の水資源はとても豊かで素晴らしいものなので、この水資源を</p>	<p>今回の計画では、桜ヶ丘浄水場は廃止するものの、箕面浄水場は存続する計画です。詳細については、No.11の①に記載のとおりです。</p> <p>既に企業団と統合している団体が保有する自己水は、当該団体が活用することから、「他市の自己水源が活用できるかどうか」という観点では、ご指摘のとおりメリットはありませんが、活用できないからといってデメリットでもないと考えています。</p>

	<p>変わることなく使える状況にして頂きたい。 企業団に名を連ねる他市町を見てみた時に、箕面市より厳しい水資源状況の箇所もあるため、統合したとしてもメリットは感じられないとも思います。</p>	
23	<p>新稲の中で引越ししましたが以前住んでた所が箕面の水だったのですが新しい家は淀川水系でした 箕面の水は夏は冷たく冬は暖かくて美味しかったです 又災害時のバックアップにも使えるので箕面の水は保存して欲しいと思います</p>	<p>①桜ヶ丘浄水場の水については、この区域にお住まいの方の中には「井戸水で美味しい」という声がある一方、「少し癖を感じる」や「乾いた後に水回りに白い汚れが付着する」といったご意見も寄せられており、評価が分かれている状況です。 一般的に、水道水の水温は、水源や配水方法等により違いが生じる場合がありますが、いずれも水道法に基づく水質基準に適合しており、安全性に問題はありませぬ。 ②災害時のバックアップについては、No.11の①に記載のとおりです。</p>
24	<p>統合は反対です。 箕面市に12.8%というとても多くの自己水があり、自然の豊かさはとても自慢できるものです。 この12.8%の自己水を今止めてしまうと、もう2度と復活させる事は難しいのではないかと思います。 修繕費用の事を仰っていましたが 今の世の中の変化や変動には全く予想もしていない事にもビックリします。 これだけ色々な物が高騰している時代に、 本当に未来を考えて未来の為にしているとは到底思えませんでした。 今他市の人口が減っているなか、箕面市は人口が増えています。 過疎化はしていません。</p>	<p>①水道事業経営戦略（素案）において、桜ヶ丘浄水場の廃止は、企業団との統合の有無に左右されるものではありません。 広報紙もみじだより12月号では桜ヶ丘浄水場の更新・耐震化の費用は約35億円との試算結果をお示ししています。 ②修繕費用については、現時点での物価動向や過去の実績をもとに、推計しています。しかし、中長期計画における将来の物価上昇や想定外の事象については、現段階で正確に見込むことが難しいため、計画策定時点で反映しきれない場合もあります。そのため、計画策定後も直近の実績や傾向を踏まえつつ、定期的に計画を見直し、状況の変化に柔軟に対応していきます。 ③人口変動の要因は、「自然増減（死亡数と出生数の差）」と「社会増減（転出数と転入数の差）」の2つの側面があります。箕面市の人口は、新しく住宅が開発された地域への転入が多く（社会増）、その他の地域の少子高齢化による人口減少（自然減）を上回っているため、現時点では微増し続けています。しかし、開発が落ち着いた後は、少子高齢化に伴う人口減少が進むことが予測されています。令和45年には約1割減少、それに伴い有収水量も約1割減少し、同様に</p>

	<p>そのような状況の箕面市がいま、統合する必要性がないと思いました。</p> <p>本当にやめてください。</p>	<p>給水収益も減少が見込まれることについては、対処せず先送りすべき課題ではないと考えています。</p>
25	<p>地震等災害の時は水が一番必要だと思っています。</p> <p>その時に箕面市ですぐに給水できることは心強いことだと思います。</p> <p>たとえ2割としても市民を守る必要経費なのではないでしょうか。</p> <p>一度廃止されれば再開するのは維持費よりも莫大な費用が必要になるのはあきらかで、他市より余力がある箕面市の完全委託は時期尚早だと思います。</p>	<p>①災害時のバックアップについてはNo. 11の①に記載のとおりです。</p> <p>②企業団と統合した場合、箕面市の水道事業を企業団に委託するというのではなく、経営の主体が箕面市から企業団に変わるものの、これまで箕面市職員として水道事業を担っていた職員が企業団に身分移管、または箕面市職員のまま企業団に出向し、引き続き箕面の水道事業に従事します。</p>
26	<p>箕面市みんなが安全に美味しく飲める水を守って下さい</p>	<p>箕面市の水の安全性については、No. 18に記載のとおりです。</p>
27	<p>もみじだよりでは大阪府広域水道企業団に入るメリットが多く書かれていましたが企業団水にした時のデメリットが少ししか書かれていなかったのが廃止に賛成と思えません。</p> <p>それにいざ災害が来た時は箕面浄水場があるから大丈夫とも限らないという事もあるのでは？</p> <p>なので桜ヶ丘浄水場の廃止を簡単に実施しようとするのに疑問があります。</p> <p>企業団水もいざという時頼りになるのか、水質も本当に安全なのかなども信用出来るのかははっきり出来るのでしょうか。</p> <p>命に直結する水に関してなので慎重かつ立て直しを図るように考えてほしいです。</p> <p>それに市にまつわる予算のコストカットできる部分は他にあるのでは？と思います。</p>	<p>①企業団との統合におけるデメリットについては、No. 19に記載のとおりです。</p> <p>②災害時のバックアップについては、No. 11の①に記載のとおりです。</p> <p>③企業団水の安全性について、No. 18に記載のとおりです。</p> <p>④水道事業が、原則として独立採算制であり、税金による補填についての市の考え方は、No. 4に記載のとおりです。したがって、市税でまかなうべき予算をコストカットしたとしても水道事業に充てることはできないため、箕面市の水道事業に必要な費用に基づき、必要となる料金収入を算出し、料金改定の検討を行います。</p>
28	<p>箕面には綺麗な水源がある。</p> <p>こちらにお金をかけても残して頂きたい。</p> <p>また、管理する方の給料をサラリーマン平均より増やし、重要な仕事であ</p>	<p>①水道水の水質基準は水道法に基づいて定められており、箕面市の水道事業では、市内全域において水質基準に適合した安全で良質な水道水を供給し続けています。</p>

	<p>る。箕面の水を守る仕事である。皆が憧れる職種になれば人はおのずと集まる。</p> <p>データセンターが増え、環境が不安になり、箕面に住むことがいいのかと</p> <p>不安を感じている住民が多くいる中、データセンターの税収がかなりある為、こちらをあてて頂きたい。</p> <p>お金がかかるからではなく、お金をかけても価値がある。</p> <p>有事の際の水の確保、箕面の水源を守り、子や孫にまで残して頂きたい。</p> <p>目先のお金だけの、企業誘致だけでなく</p> <p>住民がより良く暮らせる、緑豊かな管理された山を残し、水を守って頂きたい</p> <p>健康寿命を増やすためにも、水は大切である。</p>	<p>②水道事業が、原則として独立採算制であり、税収による補填についての市の考え方は、No.4に記載のとおりで、データセンターの税収の多寡にかかわらず、水道事業に税収を充てることはできないため、箕面市の水道事業に必要な費用に基づき、必要となる料金収入を算出し、料金改定の検討を行います。</p> <p>③技術職員の不足については、No.33の①に記載している内容をご参照ください。給与改善策については、より魅力ある職場となるよう、技術職員の手当を増やすことも検討しています。ただ、今後土木職員が新規採用されたとしても、水道に関する知識・技術を習熟する相当期間を加味すると、ベテラン職員の集中退職期が目の前に迫る中で、箕面市だけで技術継承が可能な形で年代別に職員を配置するのは、やはり現実的に困難であると考えています。</p>
29	<p>今回の経営戦略改定案に賛成いたします。</p> <p>私は桜ヶ丘浄水場の廃止による影響を受ける地域に居住していますが、同浄水場は十分な耐震化が行われておらず、災害時に給水が受けられないリスクの方が大きいと感じています。大規模な耐震化や設備更新には約35億円もの費用が必要とのことですが、安定的な給水が確保されるのであれば、企業団水への切り替えも問題ありません。</p> <p>また、職員の高齢化が進む中で、安定した技術提供や人材確保が必要であれば、大阪水道企業団との統合も妥当な選択だと考えます。現時点では箕面市の水道事業が黒字であるため、統合の必要性が分かりにくい面もありますが、今後、管路の耐震化などに財源を投入していくことを考えると、長期的かつ広域的な視点で判断することが重要だと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、桜ヶ丘浄水場については施設の老朽化や非耐震構造といった課題が年々深刻化しており、地震などの災害時には安全・安心な水の供給が十分に確保できないリスクが高まっています。また、耐震化を行うと多額の費用が必要となるため、現行の基本・実施計画どおり、令和14年度に廃止する方針です。</p> <p>給水収益が減少する見込みの中で、企業団と統合した場合、国交付金が得られ、また、企業団からの技術的支による技術力の強化や災害時の体制強化にも繋がることから、企業団との統合を検討しています。今後も引き続き安全・安心な水の供給を行えるよう検討を進めます。</p> <p>厳しい経営環境が予測される中ではありますが、今回策定する経営戦略に基づき、引き続き安全・安心な水の供給を行い、箕面市水道事業の安定した経営に努めます。</p>
30	<p>日本全体が少子化の中、幸い箕面市は人口が増えているがやがては減少の局面が来るのは明らか。人口減少を見据えて、自治体事業も広域化できる</p>	<p>ご意見のとおり、給水収益が減少する見込みの中で、企業団と統合した場合、国交付金が得られ、また、企業団からの技術的支援による技術力の強化や災害</p>

<p>ものは広域化していくのが合理的である。第2に、資料にもあったが、箕面市の水道施設は老朽化が進んでおり、人的財政的にも広域化して施設の更新を行っていく方がよいと考える。第3に、南海トラフなどの大災害の時に箕面市だけでは対応しきれない部分もでてくると思われることから、広域化が望ましい。</p> <p>以上のことから、戦略に賛成します。</p>	<p>時の体制強化にも繋がることから、企業団との統合を検討しています。</p> <p>今回の経営戦略は、将来の箕面市水道事業の経営環境が、これまで以上に厳しくなる見通しをふまえ、安心・安全な水道水を今後も安定して届けるための計画をまとめたものです。計画に基づき、引き続き箕面市水道事業の安定した経営に努めます。</p>
---	---